

# 時局日誌 (七十三)

Y H 生

十月一日

(大本營) 九月中敵に與へたる損害は飛行機撃墜破三五〇、艦艇魚雷艇撃破一〇、海上トラック一、輸送船四(我軍四〇機)

獨軍の九月中米英に與へたる損害は撃沈破主力艦二、巡洋艦二一、驅逐艦三七、水雷艇四、快速艇二一、潜水艇二、上陸用舟艇三五、掃海艇二、哨戒艇二、商船沈五五、破一三三(九一五、〇〇〇トン以上)

十月二日

國史編修準備委員官制、在學徵集延期臨時特例、東久邇宮盛厚王殿下と照宮成

時局日誌

子内親王殿下と御納采の御儀執行せらる。

今日の閣議で農商省と運輸通信省を設置のこと決定。

十月四日

海陸軍航空部隊並に艦艇は日本近海其他作戦海面に於て九月中敵潜水艦六を撃沈。

米國陸軍省は九月中反樞軸軍は飛行機五九五を喪失の旨發表。

十月五日

藥事法施行令、藥劑師令  
村田省藏特命全權大使(フリーツピン)出張に任せらる。

十月六日

文部省に於ては財團法人大日本育英團創立を發表。

十月七日

天皇陛下には第一線より歸還の太田海軍中將外四中將、三少將に拜謁仰付けらる。

十月八日

國債郵便貯金規則  
一關釜連絡船崑崙丸は十月五日二時頃沖ノ島に於て敵潜水艦の雷撃を受け數分にして沈没した、乗客乗組員合計六百十六名の中生存者は七十二名である。

内閣總理大臣兼  
陸軍大臣 東條 英機

兼任商工大臣

商工大臣 岸 信介

任國務大臣

鐵道大臣 八田 嘉明

兼任逓信大臣

國務大臣 岸 信介

兼任商工次官

去る七日ヒットラー獨逸總統は「光榮

の勝利か死か」との言明した。

十月九日

コロンバンガラ島及ベララベラ島の陸

海軍は順調に轉進し航空隊は敵驅逐艦四

巡洋艦一、輸送船飛行機數十を撃破。

十月十日

東條内閣總理大臣は官廳新採用官吏に

對して「濟世奇策なく一誠萬難を排す」

との訓示を行つた。

十月十二日

朕帝國憲法第七條及第四十三條ニ依リ本

年十月二十五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ  
召集シ三日ヲ以テ會期ト爲スヘキコトヲ  
命ス

命ス

御名御璽

昭和十八年十月十二日

各大臣連署

今日の閣議に於て行政運営決戦化に於  
て官吏の大幅縮減（二割五分減）を決定  
した。

十月十三日

東久邇宮盛厚王殿下と照宮成子内親王

殿下と御結婚遊ばされた。

第十七回大東亞戰爭戦死者に對し論功

行賞の御沙汰あらせられた。

十月十四日

フィリピン共和國は獨立を宣言した、

ホセ・ビノ・ラウレル博士大統領に當選、

大日本軍司令官は比島占領地内に於ける

軍政を撤廢せらる。特命全權大使村田省

藏フィリピン國駐劄仰付けらる。

十月十五日

統制會社制

（大本營）十月十二日約二〇〇 敵機

「ニューブリテン」島「ラバウル」に來

襲し敵に與へたる損害は撃墜一三、撃破

五、我方の損害一五。

陸軍大佐 松村 秀逸

補大本營陸軍報道部長

十月十六日

畏くも 天皇陛下親しく靖國の社頭に

新祭神初め護國の忠靈に御拜あらせ給

た。

十月十八日

去る十五日ニューギニア島ブナを襲襲

し輸送船大四を撃沈中一を炎上、飛行機

一四以上撃墜す、我方損害飛行機一五。

（大本營）陸軍航空部隊は米空軍基地

を攻撃し七月下旬より十月月上旬まで飛行

機撃墜一二四、船舶撃沈破一八、我方の

損害飛行機四〇。

航空兵團長陸軍中將中園盛孝は南支方

面にて航空作戦中九月上旬戦死。

十月十九日

去る十八日泰新領土移管を完了、我軍政を撤廢す。

防空總本部設置に決定官制制定

十月二十日

家兔、家兔毛皮、家兔肉、アングラ兔毛最高販賣價格指定、兒童用乗物最高販賣價格指定。

日本國フイリピン國間同盟條約（條約

第一二號）

海軍中將 野村直邦

補吳鎮守府司令長官

英蔣合作ビルマ反攻に機先を制し雲南

作戰を開始し敵一萬七千を崩潰す。

南支軍發表に依れば過去一年間に於て

交戦回数六九二、敵戦死七、五三九人以上、捕虜一、六八六。

十月二十一日

食用鮮魚介類最高販賣價格指定昭和十六年九月告示第六四〇號中改正、齒磨最高販賣價格昭和十六年十一月告示第一一

〇六號中改正

十月二十二日

（大本營）ニューギニア島方面十月下旬以降戰況頓に激化す、サラモア及「ラエ」附近に於て我軍好轉し集結完了す、十月中旬敵に與へたる損害推定一萬

二千以上我方戦死二千、九月一日以降の戦果は敵に與へたる損害は飛行機一六四

撃墜、艦船は巡洋艦四、驅逐艦二、輸送船一八、魚雷艇六、海上トラック四、舟

艇多數を撃沈、巡洋艦六、驅逐艦六、輸送船二、魚雷艇二、海上トラック五、舟

艇多數を撃破、我方の損害は飛行機四九。

獨潛艦及空軍は十月一日以降米英艦船四九隻、三五萬七千トンを撃沈す。

伊國に於ては米軍損害は六千七百餘名である

と米陸軍長官スチムソンは公表した。

十月二十三日

預金部地方資金融通規則

情報局發表 本月二十一日「スパス・

チャンドラ・ポース」氏自由印度假政府を樹立したるにより、帝國政府は本二十三日右假政府を承認し、直に此の旨を通告せり。

帝國政府聲明 今般スパス・チャンドラ・ポース氏を首班とする自由印度假政府の成立を見たる處帝國政府は右が印度

人多年の念願たる獨立印度完成への一大躍進なることを確信し之を自由印度假政府として承認し其の目的達成の努力に對

し有ゆる協力支援を爲すべきことを茲に聲明す。

十月二十五日

雜木下駄最高販賣價格指定、セメント最高販賣價格指定

萬世橋驛三十二年の歴史を終止し十一月一日より廢止に決す。

十月二十六日

藥事法施行規則、屠紙最高販賣價格指定、ペン先最高販賣價格指定

海軍中將 鍋 島 茂 明

任海軍省軍需局長

航空局長官 小 松 茂

任遞信次官

第八十三臨時帝國議會開院式は、二十

六日 天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り貴族院

議場に嚴肅に舉行され、畏くも 天皇陛

下には同開院式において優渥なる勅語を

賜ふた。

勅語 朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ

貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕カ外征ノ師ハ萬難ヲ排シテ隨處ニ勇戰

奮闘愈々其ノ威武ヲ發揚セリ而シテ大東

亞ノ建設日ヲ逐ヒテ進ミ友邦トノ締盟ハ

益々固キヲ加フ朕深ク之ヲ欣ブ今ヤ時局

洵ニ重大ナリ宜シク億兆一心更ニ總力ヲ

發揮シ以テ敵國ノ非望ヲ破碎スベシ朕ハ

臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戰ノ目的

ヲ達成セムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命ジテ特ニ時局ニ關シ緊

急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ

提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

東條内閣總理大臣は第八十三臨時議會

開會の貴族院衆議院本會議に臨み、歴史

的施政方針演説を行つて一段の緊迫感を

加へた、首相は同演説において「戦局の

現段階に對處し軍需生産機構、行政運営

國民動員、國土防衛組織など一切の國內

態勢にわたつてこれが徹底的刷新強化を

斷行するの緊要なるを指摘し、特に航空

戦力の飛躍的増強擴充の焦眉の急を強調

一方大東亞共榮圏においては滿洲國並に

中華民國政府との提携いよ／＼固く、ピ

ルマ、フィリピン兩國の輝かしき獨立、

マライ、ジャワ、スマトラにおける原住

民の政治參與、自由印度假政府の承認支

援等帝國の道義は大東亞諸民族の上にあ

まねく具現されつゝある儼然たる事實を

のべ、今こそ我ら一億國民は全員戰闘配

置につき擧國戦力増強に邁進、大東亞諸

民族との固き結盟によつてあくまで戦争

を完勝すべし」との牢固たる決意を吐露した、又藝陸海軍大臣の戦況の報告があつた。

(大本營發表 「ニューギニア」島「フ

インシハーヘン」北方地區に於ては現在

までに判明せる主要なる戦果

一、敵に與へたる損害

遺棄屍體約二千、鹵獲品火炮十四門、銃器約六百挺。

二、我が方の損害 戦死約三百五十名。

十月二十七日

體溫計最高販賣價格指定、既製洋服等

最高販賣價格指定

十月二十五日以前四ヶ月間に於ける海

軍綜合戦果を見るに艦船の撃沈したるも

の巡洋艦一七、驅逐艦一八、潜水艦二二

輪送船七〇(三二萬トン)其他艦艇七

三であるが、我方の損害は驅逐艦六、其

の他艦艇一二である。飛行機は撃墜破し

たるもの一六一三で、我方の損害は四一

五である。

十月二十八日

學習文具類最高販賣價格指定、カタン  
糸最高販賣價格指定、綿縫糸及其ノ他ノ  
綿縫糸最高販賣價格指定、和紙販賣價格  
指定中改正。

(大本營) 十月二十七日早朝敵の一部  
隊モノ島に上陸せり帝國海軍航空部隊は  
上陸點附近の敵艦船を攻撃巡洋艦一隻轟  
沈一隻撃破。

十月二十九日

天皇陛下には歸還の大木陸軍中將以下  
九名に拜謁仰付けらる。

第八十三臨時議會は開院式舉行

陸軍中將 飯 村 穰

補陸軍大學校長

米麥の買入價格引上げらる。

ブーゲンビル島に於て米機二七機を撃

墜した。

(遞信省發表) 二十七日東支那海に於  
て敵潜水艦の雷撃により賀茂丸は損傷、  
富士丸は撃沈。

十月三十日

情報局發表 日華兩國政府は豫て兩國

間に同盟條約締結交渉中なりし處今般  
右條約案文の妥結を見十月三十日南京に  
於て特命全權大使谷正之と中華民國行政  
院長汪兆銘との間に右條約の署名調印を  
了せり。

十月三十一日

防空法中改正(法律第一〇四號)軍需  
會社法(法律第一〇八號)日本國中華民  
國間同盟條約

十一月一日

莫大小生地及び莫大小製品最高販賣價格指  
定、綿織物最高販賣價格指定。

十一月四日

天皇陛下には第一線から歸還の清水海軍  
中將外五提督に謁を賜はる。

天皇陛下には大東亞會議に列席の爲め來  
訪の中華民國代表王精衛氏タイ國代表ワ  
ンライタヤコン殿下滿洲國代表張景惠氏フ  
イビン國代表ホヤ・ペ、ラウレル氏ビルマ

國代表バーモウ氏に謁謁及び午餐の御陪食  
仰付けらる。

大東亞各國は善隣外交、互助協力を基礎  
とし其國の目的達成の爲め來る五日大東亞  
各國の會議を開催することゝなつた、其の  
代表者は日本國東條首相嶋田海相青木大東  
亞相重光外相外八氏、中華民國行政院々長  
王精衛氏外周、綉、陳、周、薛氏、タイ國  
内閣總理大臣代理ワンライタヤコン殿下外  
五氏滿洲國張景惠總理大臣。外六氏フイリ  
ッピン國ラウレル大統領外三氏、ビルマ國  
バーモウ總理大臣外五氏陪席者自由印度假  
政府首席スパス・チャンドラ・ポース氏外  
四名。  
政府では出版事業整備要綱を決定した。